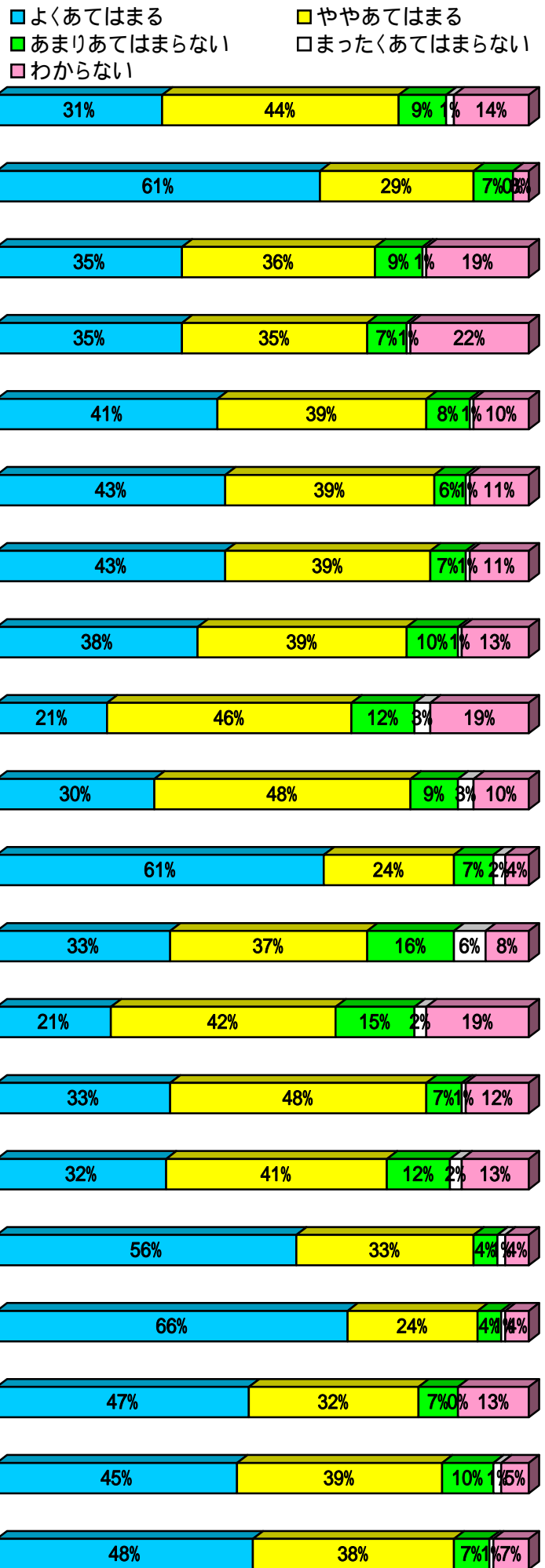


■ よくはてはまる      ■ ややあてはまる  
■ あまりあてはまらない      ■ まったくあてはまらない  
■ わからない

	通番	項目	
教育方針・学校経営	1	学校の教育方針や指導の内容に共感できる。	41% 47% 5% 7%
	2	学校は、自主性・創造性のある生徒を育てようとしている。	31% 52% 11% 6%
	3	学校は、一人一人の良さや可能性を伸ばすことに努めている。	32% 53% 11% 4%
	4	学校は、人間としての基本的な倫理観や規範意識を身につけさせようと努めている。	41% 45% 8% 6%
	5	校長のリーダーシップのもと、全職員が学校経営や教育活動に創意を凝らし、魅力ある学校づくりに取り組んでいる。	29% 45% 12% 13%
家庭との連携	6	学校の教育方針や指導の内容を保護者へわかりやすく伝えている。	30% 50% 10% 5%
	7	学校からの連絡文書等は、保護者に確実に届けられている。	37% 36% 19% 5%
	8	学校は保護者が授業を参観する機会等をよく設けている。	20% 43% 25% 8%
	9	学校は、保護者の悩みや相談に適切に対応してくれる。	19% 47% 11% 20%
教職員	10	学校を訪問したり、電話した時の学校職員の対応(明るい挨拶や丁寧な話し方)が適切である。	50% 39% 5% 4%
	11	学校の教師は、子どもたちの教育に熱心に取り組んでいる。	50% 38% 7% 4%
	12	学校の教師は、専門的な知識が豊富であり、授業内容について信頼できる。	45% 41% 7% 6%
	13	学校の教師は、子どもが相談したときには、親切に応じてくれる。	44% 36% 6% 14%
学習指導	14	学校は、子どもが意欲的に取り組むように授業の工夫をしている。	31% 45% 7% 16%
	15	学校は、テストの得点だけでなく、いろいろな面から学習の評価をしている。	34% 48% 9% 8%
	16	補習等を通して一人一人の能力に応じた指導を行っている。	30% 50% 8% 10%
	17	学校は、個人の興味・関心・希望や能力にあった選択授業や少人数授業を行っている。	27% 44% 12% 16%

	通番	項目	
生徒指導	18	学校は、自分の子どもをよく理解していて、子どもに合った生徒指導をしている。	
	19	学校は、高校生としてのマナーや社会規範を身に付けさせることや、相応しい服装、頭髪等の指導の徹底図っている。	
	20	学校では、いじめや差別を許さず、厳しく対応している。	
	21	学校では体罰の防止に努めている。	
進路指導	22	学校では、生徒に適した進路情報を示し、生徒の可能性を引き出そうとしている。	
	23	学校は、生徒の進路希望に沿った適切な進路指導をしている。	
健康安全管理	24	学校では生徒の安全・衛生面に配慮し、交通事故や痴漢防止など安全指導をしている。	
	25	地震や台風などの場合の対応について、生徒や保護者に対策マニュアルが知らされている。	
学校行事等	26	学校は、外部講師の講演や様々な体験を積むなど、授業以外の学習の機会が多い。	
	27	学校は、子どもの成長の糧となるような学校行事を行っている。	
	28	学校では、部活動が活発に行われている。	
	29	学校の施設・設備は学習環境の面でほぼ満足できる。	
	30	学校は、ボランティア活動の大切さを教えると同時にその機会を提供している。	
学校独自項目	A	31	学校は、あらゆる学校活動を通して、安全教育を行っている。
		32	学校は、家庭や地域との連携を密にし、開かれた特色ある学校づくりに力を注いでいる。
		33	学校は、資格取得を奨励し、補習などによる積極的な援助を行っている。
		34	学校は、工業の専門的な技術の習得ができるような指導を行っている。
	B	35	学校は、ホームページ等の充実により学校行事等の情報提供を行っている。
		36	本校の校則は、生徒がよい学校生活を送るために必要な内容である。
		37	学校は、部活動などを通して心身の自己管理能力を培い、好ましい人間関係を育てている。



## 【まとめ】

- ・今年度は各クラス5名(1年8クラス、2年9クラス、3年9クラス)計130名の保護者と5名の学校評議委員を対象に実施した。
- ・全体的にどの項目も8割以上の保護者、学校評議委員の方が”よくあてはまる”、”ややあてはまる”と回答している。反面、6割程度の項目も3項目あり、対策を検討していく必要がある。
- ・本校のマナー指導、身だしなみ指導は熱心に指導されていることが高く評価されている。また、部活動や工業の専門的な技術習得に向けた指導も積極的に実施されていると高く評価されている。
- ・家庭との連携では、本校からの文書は3割近くの保護者は確実に受け取っていない現状であり、生徒の回答と一致している。
- ・本校のホームページについて8割の保護者はホームページから学校行事などの情報を提供していると回答している。保護者用連絡メールの配信などで学校行事の連絡がされており、生徒よりも保護者のほうが本校ホームページ、配信メールを利用していることが分かる。

## これらをふまえて

- \* 「家庭との連携」のなかで、保護者は学校の様子をもっと知りたいと感じており、今後は学校の文書が確実に保護者の元へ届くように生徒に対し指導を徹底するとともに、授業参観の機会の拡大や保護者の声を聞くしくみなどに取り組んでいく必要がある。
- \* 「生徒指導」の面では、いじめや差別、体罰の防止などの学校側の対応について、“わからない”との回答が比較的多くみられる。また、「学校行事等」においても、学校以外の学習の機会やボランティアの取り組みについて“わからない”との回答が比較的多い。したがって、家庭への文書や総会、地区懇談会などを再検討するとともに学校の対応や取り組みを保護者に伝える方策を図らなければならない。
- \* 「学校の施設、設備」に関しては、学習環境の面で満足していない保護者が2割強である。教室の空調設備、工業教育の設備など様々な事柄が考えられるが、教室美化の推進など、できることから学習環境を整えていく必要がある。